

市民講座

パソコン勉強しなおし隊！開催しました！

コロナ禍の中、中止が相次いだ市民講座でしたがようやく開催のめどがつき、7月11日、今年度初めての市民講座「パソコン勉強しなおし隊！」を行うことが出来ました！



講師の先生と初顔合わせです。全8回の講座でしたが、第1、2回はコロナ禍で中止でした。最終回の2月までよろしくお願ひします！

今年度初めて、そして新館長にとって、就任後初めての市民講座です。挨拶にも気合いが感じられます！！



花咲く街かどづくり事業

若園はなクラブ

6月17日(水)、花のボランティアの方々と市民センター有志が集まり、「ふきの会」から届いた花苗250株を植えました。コリウス・サルビアファリナセア・フレンチマリーゴールド・ペゴニアと色とりどりの花が花壇を明るくしてくれています。

そろそろ夏本番です！花に元気をもらって、夏を元気に乗り切りましょう！！

きれいに咲いた花を見に来てください！



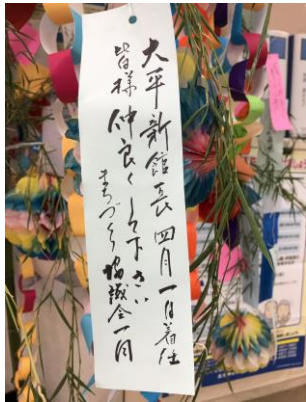
若園校区社会福祉協議会

七夕飾り

今年も校区社会福祉協議会の方達が、七夕飾りをしてくださいました。

コロナ禍の中、センターの利用もまだ通常通りとはいかず、少し寂しい市民ホール…。

七夕飾りのおかげでとても明るくなりました。

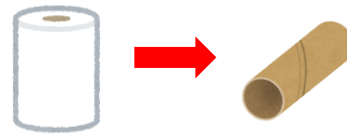


雑紙の回収にご協力ください

家庭から出るごみの中に、まだリサイクルできる雑がみが混ざっています。

新聞や雑誌、段ボールの他に、はがきやお菓子の箱、トイレットペーパーの芯なども雑がみとして、集団資源回収に出すことができます。

ご家庭で不要となった雑がみは捨てずに、集団資源回収に出し、古紙のリサイクルにご協力をお願いします。



トイレットペーパーの芯



はがき



封筒



箱類など

はがき、ダイレクトメール、お菓子やティッシュペーパーなどの空き箱、トイレットペーパーの芯、シュレッダーくず、カレンダー、包装紙、コピー用紙、小さな紙切れなど



若園のあゆみ～20周年記念誌より～



若園校区今昔物語（沿革概要）～後編～

その後、昭和33年(1958)4月1日、町内を「若い農園の町」という意味で「若園町」と決定、同年4月6日若園町自治会が発足しました。以後、水道・ガス等のライフラインが整備されていきました。昭和38年(1963)若園バス路線も開通しました。

昭和30年代後半は、所得倍増計画等の国策により、高度経済成長期に入り、マイホーム・宅地ブームが到来しました。若園地区はドーナツ現象の第一陣に当たり、人口は一気に急増し、以後国道322号線に沿って、宅地ブームは南下していきました。

その後、昭和43年(1968)若園小学校開校・校区社会福祉協議会発足。

平成11年(1999)若園市民福祉センター発足・校区まちづくり協議会発足。

令和となった現在、世は少子高齢化社会を迎え、若園校区は現在、約4,500世帯・約9,900人が居住する町となり、高齢化率は北九州市の平均を上回る約31%となっています。これは小倉南区の校区中では6番目の高さです。